



その指先の感触を、掴みたい。

心臓血管カテーテル治療トレーニングのイメージ

心筋梗塞は、心臓の血管「冠動脈」の詰まりが原因で引き起こされる病気です。この血管の詰まりを治療する方法のひとつに、冠動脈カテーテル治療があります。X線で映した血管の画像だけを頼りに、カテーテルという細い管を血管に通し、詰まった部分を拡げる「バルーン」、拡げた血管を支えて血液の流れを維持する「ステント」などの医療機器を用いて行います。

「もっと患者さんを救いたい」

「もっと新しい治療法を勉強したい」

「もっとたくさんさんの経験を積みたい」

多くの医師は考えています。

総合医療トレーニング施設「テルモメディカルプラナックス」では、さまざまな冠動脈の病変を再現した心臓の模型を開発。病院のカテーテル室と同様の環境で、血管にカテーテルを入れるところから病変部の治療、そして最後の止血まで、本番さながらのトレーニングの場を提供しています。

そこでは、千例に数例といわれるような珍しい症例の手法を経験できます。また、血管が完全に詰まるほど進化した難しい症例では、カテーテルを押し進める力や向きを加減しながら、ごく僅かな引っかかりなどの指先に伝わる感触を何回も試すのです。じっくりと時間をかけ、シミュレーションを繰り返すことで、手技を身に付けていきます。医療機器は、使う人の手によって、はじめて治療効果を発揮します。

患者さんのために、私たちテルモができることを。

**Innovating at the Speed of Life**